

■朝河貫一 在米のコスモポリタン歴史家として、多くの先駆的業績。日本の進路を憂えて政治家トップへ数々の書翰。

あさかわかんいち

明治6年政変 1873= 福島県二本松で、代々藩の砲術指南役を務めた家門出で維新後教職についた朝河正澄の長男に生まれ、佐賀の乱・・・1874= 1歳：父が県内の立子山村立小学校長になったのに伴い移住するとともに、

琉球処分・・・1879= 6歳：同小学校初等科に入学、
_“朝河天神”と渾名されるほどの神童ぶりを見せ、

明治14年政変 1881= 8歳：
新体詩抄・・・1882= 9歳：

近くの高等小学校に進んだ後、

国民之友始・1887=14歳：福島中心部に開設された尋常中学校に入学、校舎が焼失して、移転した安積中学校に学び、英語修得にはげしい努力を注ぎ、_記憶することに英和辞書の1頁1頁を食べてしまい、最後の表紙と裏表紙を校庭の桜の根もとに埋め、“朝河桜”と伝承される。

帝国憲法発布 1889=16歳：

足尾鉍毒始・1891=18歳：

大本教・・・1892=19歳：首席で卒業、_上京して東京専門学校(早稲田大学)文学科に入学する一方、本郷教会の横井時雄に通い、郡司千島探検 1893=20歳：_その影響を強く受け、受洗してキリスト者となった。

日清戦争始・1894=21歳：

苦学しながら学んだが、成績は抜群で、

日清戦争終・1895=22歳：首席で卒業、_横井の友人のダートマス大学学長から学費と寄宿費免除の申し出があったことから、

白馬会・・・1896=23歳：_徳富蘇峰・大隈重信・勝海舟らの援助で渡航費を工面して、ハノーバーのダートマス大学に入学。

つねに最優秀の成績を挙げて、

Bushidou・・・1899=26歳：_卒業し、エール大学大学院歴史学科に進む。

ビア/国産化・1900=27歳：

教科書疑獄・1902=29歳：*当時の日本の水準をはるかに超える学位論文「大化改新」(英文)をもって博士号を授けられた。

その後ダートマス大学で極東史の講師を勤め、

日露戦争始・1904=31歳：_「日露紛争」(英文)を著わし、英米で出版、日本の立場を明快に説明して多くの読者を獲得。

日露戦争終・1905=32歳：_戦後、日本が対中国強硬策をとるようになると、英米の不信が高まり、

満鉄発足・・・1906=33歳：_エール大学より日本留学を命ぜられ、第一回目の帰国、

韓国反日暴動 1907=34歳：エール大学講師となった後、

伊藤博文暗殺 1909=36歳：_日本人向けに日本語で「日本の禍機」を書き、警鐘を鳴らす。その先見性は極めて鋭く、早くもアメリカと戦うなどということは“文明の敵”となることを意味すると主張、

韓国併合・・・1910=37歳：日本が韓国を併合し、幻滅。エール大学助教授に昇進、日本史を教え、ヨーロッパ中世史も講義。

明治天皇没・1912=39歳：

_その後も、日本の指導者たちへ数々の書翰を送り続けるなど、警告を発し続ける。

ロシア革命・1917=44歳：*二度目の帰国をして、東大史料編纂掛となり、日本の封建制の史料研究に没頭、

本格政党内閣 1918=45歳：

ベルリン条約・1919=46歳：_帰米。

原敬首相暗殺 1921=48歳：

金融恐慌・・・1927=54歳：

世界恐慌・・・1929=56歳：*東大史料編纂掛時の成果を、英文「入米文書」として英米で公開、世界的に有名になる。

満州事変・・・1931=58歳：

二二六事件・1936=63歳：

日中戦争始・1937=64歳：_エール大学正教授となる。

_日米開戦回避に向け奔走、

日米開戦・・・1941=68歳：_遂にはルーズベルト大統領から昭和天皇宛の親書を自ら起草までも、間に合わず最悪の事態となったが、大学内での研究と行動の自由を許され、

創価学会検挙 1943=70歳：*エール大学を定年退職し名誉教授となった。

敗戦・・・1945=72歳：

極東裁判決・1948=75歳：_米国ワーズボロで没した。エール大学は大学葬をもって送り、グローブストリートに埋葬した。

彼の研究はほとんどが英文で発表されたため、日本の学界では知られず、それらの論文は遺稿「越前牛原荘」などともに「荘園研究」(昭和40年刊)として、日本で初めて出版された。